



こんにちは、JICAです。

JICA北陸ラジオ番組

今年度4月から「えふえむ・エヌ・ワン(76.3MHz)」の番組「こんにちは、JICAです。」を毎週日曜(14:45-15:00)放送しています。この番組は、JICA北陸の活動やイベント、関係者の活動の様子、ボランティア募集の情報をラジオを通じて発信することを目的としています。また、インターネットを通じて全世界で聞くことができるラジオで、ブログを通じて海外の隊員、研修員、専門家からの情報発信を行って、双方向的な情報のやりとりを行うことができます。

国際協力に関心のある方は絶対にお聞き逃しなく!!



番組の初めていろんな国のことばで「こんにちは」を言って下さっているみなさんです!!



これまでの出演者

みなさん、この番組の「出演者」として参加して下さいね!! 待っています!!

ホームページアドレス <http://fmn1.jp>

エッセイコンテスト作品募集

応募作品
75,000点
突破!
(2008年度)

JICA国際協力中学生・高校生 エッセイコンテスト2009で国際協力の現場へ行こう!

★入選作品への副賞は、“海外研修旅行”★ ~JICAは国際協力に触れ、考える場を提供します~

募集テーマ：
「行動 ~地球と私のためにできること」
(題は自由です)

- 募集期間 / 平成21年6月17日(水)~9月9日(水)
- 結果発表 / 平成21年12月末日(予定)
- 募集内容 / 開発途上国や国際協力について考えていることについて400字詰原稿用紙で中学生3枚以内、高校生4枚以内



昨年のタイ国での海外研修旅行の様子

2008年度中学生の部入選受賞 馬場梨彩子さんの作品より

「私はどうしてしまったのだろう...」
心の中で自分に問いかけた。

この作品は、JICA北陸ホームページでご覧いただけます



「地球と生きる」
「エッセイコンテスト2008優秀作品集」の全国編と北陸編をセットで20名様にプレゼントします。ご希望の方は以下の要領でご応募下さい。

応募方法 ご氏名、ご住所、電話番号を明記のうえ、下記メールアドレスまで送信して下さい。先着20名の方に作品集を郵送いたします。 jicahric-koho@jica.go.jp (担当:加藤)


詳しくは... [JICA北陸ホームページ](#) | [開発教育](#) | [エッセイコンテスト](#)

国際協力を北陸の伝統文化に vol.1 団体紹介 in 北陸

このコーナーでは、北陸3県で国際協力に取り組まれている人々を紹介していきます。


1990年より青年研修事業に尽力され、今年度はスリランカ、およびカンボジアからの青年を受入れて下さる財団法人石川県ユースホステル協会のみなさまより、『ご自身にとっての国際協力とは何か』について一言で表していただきました。

世界中の青少年を育成すること



財団法人石川県ユースホステル協会
理事 事務局長 上田 寿一さん

自分のできることから一歩ずつ



財団法人石川県ユースホステル協会
荒木 由利江さん

無限の可能性



財団法人石川県ユースホステル協会
理事 白江 亨さん

青年研修とは、開発途上国の若手行政官や技術者等を日本に招き、将来の国づくりを担う人材を育てる事業です。開発途上国の青年は18日間日本に滞在し、各専門分野の知識・技術を向上させる研修を受けます。

海外ボランティア from 北陸

高田真希 (富山県出身/理数科教師)
マーシャル諸島共和国



みなさんこんにちは。私は理数科教師としてマーシャルの首都、マジユロの私立高校で理科を教えています。私の活動する高校は生徒120名、教師11名です。この人数を聞いて小さな学校だと思われるかもしれませんが、人口5万人強のマーシャルでは、私立では首都で最も大きな高校です。

現在、理科の授業は教科書を離れて実験中心に進めています。実験といっても実験室や理科室はありませんし、ガスバーナーもありません。水さえ、トイレの水道が故障しているため、隣の小学校の校舎まで汲みに行くという状況です。

とにかくないないづくしの中、まずは実験書を片手にスーパーや文房具店を回り、どんな材料が揃うのか調べることから始めました。日本の高校で働いていた頃は、実験といえばガラス器具や薬品を使うものというイメージがありましたが、酢や重層、ペットボトルやストローなど、身近な材料でも様々な実験ができます。材料を揃えたら、自宅で予備実験を行います。予備実験ではうまくいっても、実際の授業では風が強かったり、雨が降って湿度が高かったりしてうまくいかないということもありました。

この2ヶ月で約15種類の実験を行いました。実験を通して、それまでの授業では見られなかった生徒の生き生きとした様子が見られたり、生徒から実験が楽しかったと言われたりして、生徒にとっても私自身にとっても良い経験になったと思います。間もなく学校は年度末を迎え、2ヶ月の長い休みを迎えます。この1年間を整理し、新たな気持ちで新年度を迎えたいと思います。



メキシコから研修員7名が北陸にやってきました! 研修員 in 北陸

みなさん、日墨交流計画をご存知ですか?これは1971年に日本とメキシコ(墨西哥)との間で交流を進めようとして計画されたもので、毎年メキシコそして日本から相互に学生・研修員の派遣を行っています。

5月の始め、金沢に日墨交流計画の一環で7名の研修員がやってきました。これから半年間にわたり6名が金沢工業大学においてコンピューターについて学び、1名が金沢大学において国際保健薬学について学びます。3月4月には大阪で全員日本語を特訓しました。「金沢の街の雰囲気は落ち着いていてとても気に入りました!これから夏にかけてお祭りのシーズンと聞いて楽しみにしています。」とアリシアさん。

これから約半年間にわたる研修となりますが、金沢ならではの文化も楽しんで下さいね!



金沢工業大学内を案内してもらった研修員のみなさん